

平成16年度 受賞者

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

博多祇園山笠振興会（福岡県福岡市）

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

犬山祭保存会（愛知県犬山市）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

小鹿野歌舞伎保存会（埼玉県男鹿野町）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

橘 斌（福島県相馬市）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

佐伯灯籠保存会（京都府亀岡市）

地域伝統芸能奨励賞

沖縄新歌舞団大太陽（沖縄県那覇市）

受賞者 プロフィール

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

博多祇園山笠振興会（福岡県福岡市）



博多祇園山笠は毎年7月1日から15日に開催され、期間中10数mの絢爛豪華な飾り山笠が市内10数カ所に立ち並ぶ。祭り後半の10日からは重さ約1トンもの勇壮な昇き山笠が疾走し、祭りは静から動へと移り、15日早朝4時59分の追い山笠では、七基の昇き山笠が5キロ先のゴールを日指し祭りはクライマックスを迎える。その起源は、鎌倉時代の初期、宋の国から帰国した高僧が、博多の町に流行していた疫病を封じ込めるため町人の担ぐ施餓鬼棚に乗って祈祷米をまいたのが始まりとされている。

博多祇園山笠振興会は、組織の一本化と祭りのより一層の発展を目的として昭和30年に結成され、現在では300万人を集客し福岡市を代表する祭りとなった。

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

犬山祭保存会（愛知県犬山市）



犬山祭は、寛永12年（1635）に始められたとされる。はじめは練り物や馬の塔が出されていたが、その後車山（やま）が作られ、人形からくりが奉納されるようになった。今日のように13輛の車山とからくりが揃ったのは19世紀前半のことである。以来郷土の伝統文化として受け継がれている。8メートルを越す大車山と精巧なからくりは貴重な文化財である。犬山祭保存会は、車山及びからくりの維持保全、並びに犬山祭を保存・伝承するために昭和48年（1973）に設立された。車山を所有する13町内と練り物を所有する3町内で構成され、町内間の協調をはかりながら地域の発展、教育活動にも携わっている。2005年に開催される愛知万博では、会場に県内100輛の山車を揃えるプロジェクトの中核をなしている。

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

小鹿野歌舞伎保存会（埼玉県男鹿野町）



小鹿野歌舞伎は江戸時代後期から始まる秩父地方の地芝居の伝統を伝え、彩の国さいたまを代表する民俗芸能として親しまれている。役者から裏方まですべて町内の人々で衣装やかつら・大道具なども揃い、組織・上演回数・活動などは全国に約190ある地芝居の中でも際立っている。小鹿野歌舞伎保存会は昭和48年に結成され、町内5カ所の祭りでの上演を支援するほか町主催の歌舞伎・郷土芸能祭や県内外で積極的に上演活動が続け、「歌舞伎のまち・おがの」の格を高めている。近年、歌舞伎を町の顔として活用し地域に根ざした文化を創造する、町の歌舞伎のまちづくり事業の主演として活躍し、文化イメージアップの全国的な展開に多年にわたって貢献している。

橘 斌（福島県相馬市）



福島県相馬地方では、毎年7月23日から25日にかけて「相馬野馬追」が開催される。国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、戦国時代より一千余年の歴史を誇る日本を代表する伝統文化行事であり、甲冑を身にまとった騎馬武者たちが勇壮華麗な戦国絵巻を再現する。

橘斌氏は、この「相馬野馬追」に必要な不可欠な甲冑の製作を生業とし、その製作過程・素材・手法は昔から一切変えられることなく今に伝えられ・さらに橘氏の制作した甲冑は、福島県の伝統工芸品に指定されている。また、福島県立博物館に展示されている「赤糸威大鎧」の復元を手がけるなど、日本武具甲冑等の保存及び「相馬野馬追」の継承に対し多に貢献をしている。

佐伯灯籠保存会（京都府亀岡市）



佐伯灯籠は、ひえ田野【ひえだの】神社・御霊【ごりょう】神社・若宮【わかみや】神社・河阿【かわくま】神社の四社合同の夏祭りで、平安時代に京都御所より灯籠が下賜されたのを祝い、五穀豊穡を願う祭りとして始まったといわれており、以来毎年8月14日に開催されている。

中でも祭りに奉納される人形浄瑠璃は、「台灯籠」と呼ばれる宮殿形式の舞台で、背丈20cmほどの人形を背中竹串で操る一人使いの人形浄瑠璃であり、京都府無形民俗文化財の指定を受ける全国でも数少ない形態を伝承している。

近年は後継者育成のため、地元小学校と協力して子供体験プログラムの実施や講演活動を積極的に取り組み、佐伯と灯籠継承・発展と地域の活性化に努めている。

沖縄新歌舞団大太陽（沖縄県那覇市）



沖縄新歌舞団「大太陽」は、琉球舞踊を継承する若手の育成を目的に1999年に琉球新報社により結成され、諸流会派を越えた若者達が参加して国内外で沖縄の伝統芸能を披露する活動を続けている。

今から約600年前に首里城に誕生した琉球舞踊は、多くの流会派により継承され今日に知られる一方、近年その魅力が観光資源となり沖縄を内外にPRしている。大太陽は、これまで全国33都道府県及びアジア諸国において300余の公演を行い、団員は、学生、社会人といったそれぞれの業と継承活動を両立させ、地域の誇る伝統芸能を民族・国境を越え、人々に感動を与えてきた。その活動は社会的にも評価されるとともに、次世代に向けて継承の幹を更に大きく広げ地域に貢献している。